



科学研究費補助金基盤研究（A）（一般）平成22年度～25年度

市民生活行動学の構築による部門横断型まちづくりのための 政策意思決定方法論の開発

Development of Cross-Sector Urban Planning and Management Methodologies
by Establishing Theory of Citizen's Life Decisions and Behavior

Principal Researcher : Junyi ZHANG

http://home.hiroshima-u.ac.jp/hitel/citi_qol_jp.html

本研究はまちづくり政策の方法論を市民生活と部門横断型連携の視点から新たに開発することを目指し、科学研究費補助金基盤研究（A）（一般）のご支援のもとで、平成22年度から25年度まで実施するプロジェクトです。まず、市民生活行動の種々な側面をパッケージ化した調査手法を提案し、パッケージ化した調査の標準化を図ります。次に、新たな学問体系として「市民生活行動学」を学際的な視点から構築します。そして、まちづくり政策が市民生活に与える影響、および市民生活の外部不経済性を総合的に評価するシステムを開発します。最後に、「市民生活行動学」の知見を活かした部門横断型まちづくり政策を実現するための提言を試みます。

第3回市民生活行動学研究会 内閣府幸福度指標に関する講演会 ～幸福度と公共政策～

大阪大学大学院国際公共政策研究科 山内直人 教授
(内閣府「幸福度に関する研究会」座長)

【日時】 平成23年10月10日（月・祝）15:00～17:00

【場所】 広島大学大学院国際協力研究科・大会議室

【参加費】 無料

【言語】 日本語（Language: Japanese）

【問い合わせ】

広島大学大学院国際協力研究科・教授 張 峻屹

電話：082-424-6919；E-mail: zjy@hiroshima-u.ac.jp

【講師略歴】

M.Sc.（英 London School of Economics）。博士（大阪大学）。経済企画庁（現内閣府）エコノミストを経て、1992年に大阪大学に移る。同大学経済学部助教授を経て同大学院国際公共政策研究科教授（現職）。2003年度に大阪大学NPO研究情報センターを創設し、現在までセンター長を務める。1999年の日本NPO学会の創設に参加し、理事などを経て、2006年度からは会長を務める。日本NPO学会の公式機関誌であり、NPO・市民社会研究の日本初の本格的な学術誌である『ノンプロフィットレビュー』の編集長も務めている。国際的な活動としては、1997年に米イェール大学客員フェローに就任したほか、ジョンズホプキンス非営利セクター国際比較プロジェクトの日本代表を務める。また国際学術誌『Voluntas』の編集委員も務めている。専門は公共経済学、政策研究。著書に、『ノンプロフィット・エコノミー』（日本評論社）、『NPO最前線』（訳、岩波）、『NPOデータブック』（有斐閣）、『NPO入門』（日経文庫）など多数。